

I n f o r m a t i o n



埼玉県のマスコット「コバトン」

花とみどり

Vol. **68**
2015.2.26

早春の梅園



当センターでは、ウメ155品種
293本を保存・展示しています。



埼玉県花と緑の振興センター

彩の国

所長あいさつ

植木・緑化産業をめぐる動きについて、オリンピック開催が正式決定されて需要も回復基調の兆しをみせています。また都市化が進む首都圏下ではヒートアイランド現象が叫ばれ住環境の悪化が顕在化する一方で、その対策として、都市緑化へのビジネスチャンスも生まれてきています。更に先般 ①消費・拡大 ②生産・経営安定対策 ③花育緑育の推進 ④育種等による知的財産戦略などを柱とする「花き振興法」が成立し、この中で初めて「植木」がカバープランツ等も含め「花き」の定義の中に明確に位置付けられました。これは国産花・植木の一体となった一層の生産振興が、同法により明文化された大変明るい話題です。

そういった中で当センターでは、本年度新たに県内市町村土木担当者等を対象にセンターが取り組んでいる3つの技術（安行四季彩マット・コア抜簡易舗装面緑化、むさしのケヤキ）の普及拡大に向けた都市緑化現地研修を開催したり、販売促進の面でも県の花植木商談会や新たに川口市の商談会、IFEX等に生産者の積極的な出展、参画促進を図り支援するなど様々な取組みを推進しています。

「作る（生産）のはプロ！そして売る（販売）のもプロ！」を合言葉に生産現場を盛りたて、県民の皆様にも更に親しまれる機関として、今後もあゆみを進めていく所存です。



川口市緑化産業商談会風景

生産者紹介

●平第23回 花の国づくり共励会 花き技術・経営コンクール 農林水産大臣賞受賞者

フカヤスリーエフクラブ 構成員5戸
代表者 島田 誠 氏



深谷市で、平成11年4月から若手生産者2名を含む5名（平均年齢49歳）でユリ切り花の生産販売に取り組んでいるグループです。名称のスリーエフ(3F)とは、深谷市のF、フラワー(Flower)のF、未来を表すフューチャー(Future)のFの3つのFであり、深谷市で将来にわたりユリ切り花生産に取り組む組織であるという意味が込められています。

ユリ切り花の生産経営において、メンバー相互の創意工夫と連携により、環境に配慮した計画生産を実施していること、安定した出荷数量の維持による経営収支が健全であること、地域の花き生産振興に寄与していることなどが高く評価され、農林水産大臣賞を受賞されました。

❶ 組織活動の特徴

ユリ作りの中に「面白さと楽しみ」を位置付け、理想とする姿に近づくためには、あえて苦難の道を選ぶという志を共にしたメンバーは、日々情報交換と栽培方法の検討を重ね、共に技術の向上を図ってきました。さらに他産地の情報等を採り入れながら、自らのほ場で試行錯誤を重ね、品種の特性と栽培環境に見合った独自の技術を生み出し、高品質なユリ切り花の計画生産を行っています。

一歩先行く経営の1つに、将来有望な希少品種を「フカヤスリーエフクラブスペシャル品種」と称し、毎年十数品種程を市場に売り込んでおり、これらは新たな需要を掘り起こし、定番品種の先導役となっています。また、他県産地とのネットワーク強化により、産地間競争に打ち勝つ環境作りをしながらも、共に技術向上に励む取組みを行っています。この強固なネットワークは、昨年の雪害被害時に、多くの支援者が訪れたことを物語っています。担い手育成

についても積極的で、他県からの研修生に対しても、研修終了後に各地に戻ってスリーエフクラブの名称を使用した販売に取り組めるよう配慮しています。

❷ 地域ならびに地域を超えた農林業への貢献

従来の花き経営から脱却して、顧客ニーズに合わせた企業の経営を実践しているフカヤスリーエフクラブは、地域生産組織を始め他県の生産者に対しても1つのモデルとなり、産地に刺激を与えリードする存在です。

県域を越えた担い手育成や生産技術の相互向上の取組みにより、ユリ切り花を始めとした花き生産振興に大きく貢献しています。



温暖化の進む都市と 舗装面緑化の今後

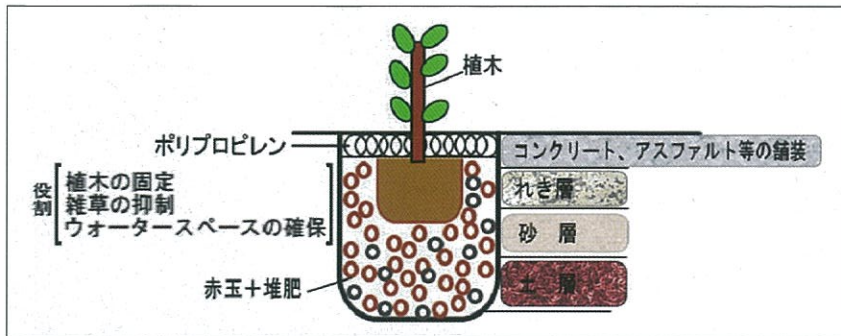


図1：コア抜き苗木植栽技術断面図



写真1：中央分離帯緑化（川口市 道合の現場）



写真2：安行四季彩マットによる屋上緑化
（川口市 サンテピア）

9月3日に当センターでは、これまでセンターで試験的に取り組んだ、普及性が高いと考えられる都市緑化に係わる技術の研修会を開催しました。当日紹介した技術は舗装面を大規模に破壊することなく植木を植栽する「コア抜き舗装面緑化技術」（図1）と、軽くて建物への負担が少なく、低コストで、屋上やベランダなどの人工地盤の緑化を行えるユニット式植栽基盤技術（写真2）です。道路、施設管理等での課題解決や都市部のヒートアイランド現象など都市環境問題の解消に向けた緑化の推進と、従来はほとんど緑化されていない場所への緑化に伴う新たな植木需要の創出など、参加者から活発な意見もつきず、充実した研修となりました。

緑の コラム

オリンピック・パラリンピック開催と 都市の緑化推進対策について

2020年にオリンピック・パラリンピックが東京で開催されることが決定しました。埼玉県でもサッカー、バスケット(さいたま市)、ゴルフ(川越市)、射撃(朝霞市)の4競技が行われる予定です。

この開催に向けて、高速道路等道路網の整備をはじめとするインフラ整備が急ピッチで進み、宿泊施設の整備にも拍車がかかります。

これらの整備に伴ってこれまで停滞していた公共緑化需要の増加が期待できます。今回のオリンピック・パラリンピックは、7月24日から9月6日にかけて、まさに真夏の祭典となり、これを念頭に置いた緑化を進めることが重要です。特に夏に花の盛りを迎える樹種を選びましょう。例えば燃えるような赤い色のサルスベリ、さわやかな涼しさを感じさせる青いセイヨウニンジンボクなどが夏向きの樹木と考えられます。

これらの樹木は、街路樹等として本県を訪れる多くのお客様の目に直接触れるものです。海外からのお客様には、外観デザインだけではなく、目には触れないけれどその街を彩る最新技術を紹介するチャンスでもあります。特に真夏に都市部で開催されることを考えると、ヒートアイランド現象緩和のための様々な緑化技術を紹介するよい機会ととらえられます。

埼玉県で開発された「安行四季彩マット」を活用した屋上緑化や壁面緑化、さらには建造物の垂直利用とそれに伴って生まれる空間を利用した緑化空間で、海外から訪れる多くのお客様を癒しの心でおもてなししましょう！

オリンピック時には、海外から多くの観光客や有識者の方が訪れます。

観光客には感動を有識者には本県の緑化技術の水準の高さを見せましょう！

オリンピック開催は、技術に裏打ちされた緑化産業を、本物と一番を売りにして国際ビジネスへと発展させる大きなビジネスチャンスです！



涼しげなセイヨウニンジンボク



四季彩マットのサルスベリ

園内の植栽樹木の紹介②

一園内植栽樹木の紹介(メタセコイアとラクウショウ)一

今回は当センターの高木の代表格、メタセコイア(ヒノキ科メタセコイア属)とラクウショウ(落羽松 ヒノキ科ヌマスギ属)(写真1)を紹介します。

❶ そっくりなメタセコイアとラクウショウを区別しよう。

共に直立性の高木で葉は羽状複葉、植栽も池の周りなど湿地に多く、植栽場所も同様なことから、一見、瓜二つの樹木ですが、以下のポイントを知っていれば直ぐに判別が出来ます。

- ①メタセコイアは葉が対生(対に付く)、ラクウショウは葉が互生(互い違いに付く)。
- ②ラクウショウは呼吸根(気根)が出る(メタセコイアは呼吸根が出ない)。

❷ 成長ナンバーワン樹木 メタセコイア

当センターのメタセコイアは樹高約30mで園内植栽樹中、最も背の高いシンボルツリーとなっています。日本には昭和24年に国や皇室に譲渡されたのが最初で、昭和29年(開園の翌年)、農林省林業試験場からいただいた実生(種子から育ったもの)の1年生苗を植えたものです。本年で63年目を迎えています、いまだに生育旺盛、生長しつづけています。

❸ 子供に人気ナンバーワン樹木 ラクウショウ

このラクウショウは、沼地に適応するためなのか、株元周辺に複数の呼吸根(写真2)という太い根が地上部に突き出ており、多くの来園者を驚かせています。特に自然観察会で訪れる子供たちには大人気で、呼吸根の発見とともに新鮮な驚きの声が園内に響き渡ります。



(写真1) メタセコイア・ラクウショウ



(写真2) 呼吸根

お知らせ

ホームページが新しくなりました!

埼玉県では、ホームページを、「必要とする情報を探しやすい」、「スマートフォンでも見やすい」ものにするため、大幅なリニューアルを行いました。埼玉県庁のトップページは、総合トップページのほかに、県民向け情報をわかりやすく紹介する「県民向けトップ」と、ビジネスに役立つ情報や入札情報を伝える「事業者向けトップ」の2種類ができ、見つけたい情報に合わせて探しやすいになりました。また、スマートフォンでも見やすい、スマートフォン版も用意されています。

県のリニューアルにあわせて、花と緑の振興センターのホームページも装いを一新。

緑を基調としたデザインで、四季折々の園内植物紹介や、講座・研修案内をしています。

また、従来通り花植木の購入先の紹介も行っています。県内の花植木業者で、掲載を希望される方は当センターに御相談下さい。

なお、リニューアルに伴い、センターのホームページアドレスは変更になっています。

トップページの新しいアドレスは、<http://www.pref.saitama.lg.jp/hana-midori/index.html>です。県庁のトップページ右側、「組織情報」の中から「農林部」「花と緑の振興センター」と進んで下さい。

スマートフォンの場合はQRコードを御利用下さい。



Information

花とみどり

平成27年2月26日発行

発行所/埼玉県花と緑の振興センター
発行人/埼玉県花と緑の振興センター 所長 落合 正宏

TEL : 048-295-1806 FAX : 048-290-1012
HP <http://www.pref.saitama.lg.jp/hana-midori/index.html>
E-mail h951806@pref.saitama.lg.jp

